

開眼の見込みある千六百八十名に對しては左の要領で治療を行ふ、市都在住の眼科醫師に委託するほか眼科を有する社會事業團體と協力して繼續治療を施行、公私立の眼科醫院または病院に入院せしめ治療眼疾者の多い地域を指定して特別診療を施行

二、訪問相談ならびに職業輔導——原則として一昨年の風水害により被害甚しかつた地方の盲人のため専任職員を常置して家庭を訪問せしめ善良なる相談相手となり、その生活上を計りさらに授産場を設けて短時に盲人に適する簡易な職業教育を施し經濟更生の助長を行ふ。

▼：聖ヨハネ學園春のあつまり

大阪市天王寺區細工谷町聖ヨハネ學園では先年の風水禍に傷つた園舎の改築が出来上つたのを機としこれが披露とペザーを

かねたり春のあつまりを五月二、三の兩日開催、呂香陶器展と郷土玩具展を催すほか母の會々員の子供への母心で腕に擔りをかけて作りあげたお壽司、おでん、しるこの御馳走に來園者をつつかり喜ばせて學園色豊かな集ひを終つた。

▼：天王寺市民館の

保護者俱樂部總會

天王寺區下寺町三丁目大阪市立天王寺市民館託兒部幼兒の保護者たちによつて組織されてゐる保護者俱樂部では、去る五月十四日午後二時から同市民館二階講堂で總會を開催し、新に制定される俱樂部規約の審議や幹事の互選などを行ひ終つて、本聯盟に於て幹旋篤志出演された花月亭九里丸師の漫談に一同爆笑をとりして四時閉會した

▼：春日出地方社會事業協會の創立

去る四月二十八日午後七時より此花區四

貫島梅香小學校の會議室に於て、春日出地方社會事業協會の創立總會が催された。集るもの八十餘名、朝日橋警察署長柴山氏を初め多數來賓を得て、盛會を極めた。

春日出方面常務金子泰藏氏の開會の辭に次いで、弘濟會四貫島保育所長皆川新光氏の協會創設に關する経過報告あり、役員選舉に入つて木村委員長以下十五名の理事四十名の評議員が決定せられた。四貫島セツルメント館長吉田源治郎氏立つて會則の説明をなし、會則の協議決定を了した。

當協會の主旨とする處は「我等が地區の問題は我等が手で」「恩惠的社會事業より相互協力による社會事業へ」といふにある即ち、此地區に於ける、社會事業家、方面委員、地元有志が一致協力して相互聯絡統制を密にすることによつて、既設事業をより強化徹底せしむると同時に、此の地區を

最もよく知るこれ等協會員の努力によつて此の地方に必要なくべからざる社會施設を創始し、出來得るならば斯うした新規事業も次第に最寄既設社會事業團體に委託しつゝこれが成長助成を圖り、次ぎ／＼と不可欠の事業に手をさしのべて行く方針である斯うした協會は未だ曾て例を見ざる進歩的社會事業なるがために、その創設までには幾多の紆餘曲折を要したが、次第に當協會の主旨のある處が一般に理解せられて創立當日までに既に二百五十餘名の維持會員を獲得して堅實なるスタートをふみ出すことになつた。

さし當り當協會としては大阪府臨時職業輔導部の助力を得て、此花區春日出中一丁目十一番地の當協會事務所に於て四月十三日よりミシン講習會を開始し、會員四十名は雲田教師、助手一名の指導の下に日々

朗かな講習は續けられて居る。

近日中、當協會の理事會を招集して愈々本年度の具體的活動に入る事になつた。

▼：今宮社會事業研究會五月例會

五月十五日午後一時から西成區東田町市立今宮保護所宿泊室に於て今宮社會事業研究會が開催され會員二十名出席、郡昇作氏が座長格で(一)無籍者就緒手續上の打合せ(二)行旅病人の限界及取扱上の打合せ(三)小學校々庭開放其他細民地域内の兒童保護に關する研究(四)今宮細民街の再検討について演説したが、各事業所とも常々悩まされてゐる南京蟲と虱の驅除については相當話柄が賑はひ午後五時散會した。

▼：第六回職業紹介研究會

職業紹介研究會第六回集會は五月十四日午後五時より新緑萌ゆる天王寺職業紹介所に於て開催、出席二十一名、先づ市社會部

庶務課調査係長寺島四郎氏並同係中野正直氏の「營利派出婦會の現況」に關する詳細説明報告あり、續いて質問懇談に移り、午後六時半晚餐後再び續開、波部市立九條職業紹介所長並市立中央、小橋兩紹介所婦人職員等の興味ある體驗談あり、午後八時盛會裡に散會した。

▼：弘濟會が職員進修講座開講

三百の職員を有する財團法人弘濟會では今度これら職員の素質向上と延いては同會の業務進展に資するため、第一會場山田事業所に於ては第二土曜日、第二會場弘濟病院に於ては第三土曜日、いづれも午後二時より同四時まで職員進修講座を開講することになり、去る四月十一日から實施されてゐる。第一回講習四月より七月までの講師には上山同會會長をはじめ木村、近藤、竹中、輝峻各主事、松本、片山、富家各醫長